

活動概要

奈良県からの委託研究による、〈トウキエキス薬効薬理試験〉漢方のメッカ推進プロジェクト～大和トウキの血流改善効果についての検討

活動内容

活動・研究・委託テーマ	〈トウキエキス薬効薬理試験〉漢方のメッカ推進プロジェクト～大和トウキの血流改善効果についての検討
対象となる地域・企業等	奈良県
活動学生（ゼミ・学年等）	池田研究室所属学生・院生
連携時期	2015年6月～現在
学外への広報方法	学会発表、国際誌投稿
連携内容	奈良県からの委託研究により、古来より薬草の産地であった奈良県の地域活性のため、生薬のひとつトウキの薬効について、動物実験で明らかとすることを目的として、研究を実施した。本研究により奈良県産トウキの有効性の科学的根拠を示すとともに、商品の付加価値をあげることを目指した。トウキの主効能である血流改善だけではなく、他の薬効も考えられる結果が得られたため、現在も、情報交換とともに、研究をすすめ、社会への情報発信のため、積極的に学会発表、国際誌への投稿の準備をすすめている。
成果	国際誌掲載：Negishi H, Sugahama S, Kawakami A, Kondo J, Nishigaki Y, Yoshikawa M, Ueyama T, Ikeda K. "Effect of Angelica acutiloba Extract on Blood flow Regulation in Stroke-prone Spontaneously Hypertensive Rats" <i>Natural Product Communications</i> , 11 (10), 1497-1498 (2016) 学会発表：International SHR Symposia

研究者・研究グループからの「ひとこと」

当帰芍薬散などの漢方薬（複数の原料）として、血流改善が報告されているが、原料であるトウキについて、科学的根拠が十分に示されておらず、地域活性のためにも、実験にて血流改善効果をあきらかにすることを目的として行った。そして、結果の一部を国際学会および学術論文として国際誌に発表することができ、また、学生が主体的に研究に参加し、研究活動に興味を持てるようになったことから、有意義な研究であった。

活動内容PR（活動の様子・参加者の声等）

トウキの薬効について、単味製剤としての可能性について検討した結果、興味深い結果を得ることができた。末梢における血流改善が、単回投与でも慢性投与でも認められた。さらに、エタノール抽出物と水抽出物では効果に差が認められ、それぞれに含まれる成分について、興味を持たれた。本研究は、卒業研究として実施しており、一部の学生は大学院進学後、さらに詳細な検討を継続している。進路を決める際に、本研究活動への参加が影響を与えたとのことである。

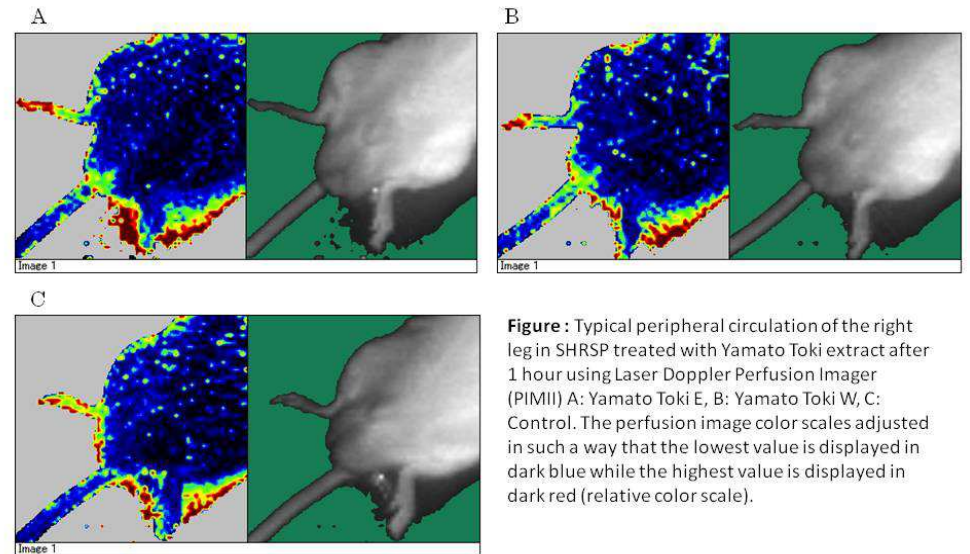


Figure : Typical peripheral circulation of the right leg in SHRSP treated with Yamato Toki extract after 1 hour using Laser Doppler Perfusion Imager (PIMII) A: Yamato Toki E, B: Yamato Toki W, C: Control. The perfusion image color scales adjusted in such a way that the lowest value is displayed in dark blue while the highest value is displayed in dark red (relative color scale).